



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／竹村 一幸
- 副会長／小野 仁 中畑 隆一
- 幹事／小口 泰史
- 会報・雑誌・広報委員長／坂井 忠彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939 ・ URL: <http://okayarc.org> ・ E-mail: okayarc@amber.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2341 回例会 2007 年（平成 19 年）5 月 29 日（火）

司 会：山岡正邦 齊 唱：手に手つないで
点 鐘：竹村一幸 ラッキーNo.：No. 33 太田博久
表彰：米山功労者 小口哲男、小口泰史、尾関秀雄、
北村正春、竹村一幸、濱 透、
林 裕彦、山岸邦太郎、吉江信介



会長挨拶

皐月の 5 月も瞬く間に月末を迎えてしまいました。

本例会はガバナー補佐最終訪問例会となります。尾関秀雄ガバナー補佐さんには第 2600 地区のパイプ役を務めて頂いただけでなく、クラブの運営や事業に献身的にご指導を賜りました。改めて感謝を申し上げます。

昨日は松岡農水相の大変ショッキングのニュースが入って来ました。

今、私たちの生きている社会は競争社会です。ですから誰もが“勝者”となることを目指して闇雲に競い合っています。その結果、一瞬たりとも心が休まる間がなくなっています。

このところ企業や団体の首脳がテレビカメラの前で深々と頭を下げてお詫びする光景が日常茶飯事になっています。これ等すべては勝者になることを念願して、超多忙の中に身を投じ、頑張っている内にいつの間にか「人の心」を無くしてしまった人達の姿です。

そのような人たちの中に「幸せ失調症候群」が蔓延して、幸せを求め始めました。よく行列のできるラーメン屋があります。大勢のお客を呼ぶ為に何をしたらよいか？ どんな効果的な宣伝をすればよいか？ などと言った事に腐心することはなかったと思います。あったのは「ああ、このラーメンを食べて幸せだなあ！」とお客様をうならせるようなラーメンを食べさせたいという、一念があっただけだと思います。お客様に喜びと感動を与えることにより幸せを感じてもらい、店も幸せになる。その結果としてお客が行列をつくるようになっただけのことなのです。

世のために貢献する志だけを強く堅持し幸せづくりをして行く、ここにも「超我の奉仕」が見え隠れしています。

幹事報告

・尾関ガバナー補佐よりご祝儀を頂きましたのでご報告します。

委員会報告

親睦委員会 6/2(土)親睦バスハイクには 33 名の会員、ご家族に参加して頂きます。当日は午前 8 時にホテル岡谷さんを出発します。さくらんぼ狩りと温泉ですので気軽な服装でお越し下さい。よろしくお祈いします。

プログラム委員会 本日の例会が最後の卓話となります。尾関ガバナー補佐にはロータリーの話は堅いので少しくだけたお話を半分づつして頂ければと思います。よろしくお祈いします。

社会奉仕委員会 6/3(日)午前 6 時より諏訪湖及び河川一斉清掃が行われます。多くの方のご協力をお願いします。



米山奨学生

シャー、シェイレンドラー・クマーさん ネパール

2007 年 4 月～2008 年 9 月

信州大学 博士課程 2 年

総合工学系 研究科 山岳地域環境科学 専攻



「ガバナー補佐訪問」

諏訪グループ ガバナー補佐

尾関 秀雄 様

ウィリアム・B・ボイド RI 会長 (ニュージーランド オークランド市出身) “LEAD THE WAY” “率先しよう”

- ◆一人一人のロータリアンが品位を持って、地域社会に信頼される奉仕活動を、クラブ役員、会員が達成感を味わえる様な活動奉仕でありたい。
- ◆堅実な仕事ぶりが常に地域の人々から見られていると言う事を忘れないで。
- ◆次代の優秀なロータリアンを育てる事が大きな役目である。

- ◆ 4 つの強調 ・1) 水保全・2) 識字率の向上・3) 保健衛生、飢餓・4) ロータリー家族 ◆ 5 つの行動計画 ・1) 組織の強化 (会員増強)・2) CLP・3) 公共イメージ向上・4) 財団理解・5) 指導者育成で勉強会を始め、PETS、地区協議会を終えて、新年度に入りました。

諏訪グループ以外の関連する委員会、記念行事、祝賀等思わぬ日数を要しました。年度始めの豪雨災害に見舞われ、これへの対応、地区大会前日の会長・幹事会へのガバナー提案の見直しと検討 (改革) 事項等、例年に無い諸事項が加えられましたが、いずれも地域内の足並は充分理解を頂き、第 2600 地区ガバナーからも一定の理解と感謝を受けている事を報告させていただきます。

先般、東京の六本木にオープンした東京ミッドタウンの概念は、「都心の上質な日常」と言うことです。中には一流ホテル、17の有名ブランド店、住居スペース、高級レストラン、憩いのスペース等、配されている。

名古屋駅前の最高層ビル「多種多様な交流と発展・飛躍の拠点」その中心となるのが、ミッドランドスクエアですが、いずれも大都心で可能な再開発ですが、多くの地方の街との格差が大きいニュースでした。都民、市民の反応は大勢の人々が自分にはあまり縁が無いと言うインタビューの答えでした。地方の街では、シャッターの降りた店が増え、昼も夜も人気の少なくなった事を感じており、大きな違いを感じる思いでした。

具体的な格差是正の論評は、施策や打開策について話してはいません。我々にわかるのは経済的尺度の事ですが、地域社会の過去・現在・未来を自分達でどの様に考え進むのかと言う事ではないでしょうか。明日と言う日に希望を託すための努力が必要であります。

晩年の伊達政宗の心境

「馬上少年を過ぐ 世平かにして白髪多し
残軀天の赦すところ 楽しまざるをこれ如何んせん」

ニコニコボックス

前回例会の卓話でお世話になったホテル紅や総支配人小野様より卓話の謝礼金をニコニコボックスに頂きました。

濱 透・小口俊光・浜 俊弘(ガバナー補佐幹事) 尾関ガバナー補佐の最終公式訪問例会です。お世話になります。

牛山幸一・太田博久・大橋正明・小口雅弘・小口泰史・小野 仁・笠原久平・小松正二・佐藤有司・杉田隆夫・高木昭好・竹村一幸・塚田昌滋・林 裕彦・林 靖高
宮沢由己・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 尾関ガバナー補佐、最終公式訪問例会よろしくお願ひします。

大橋正明・小口成人・林 靖高・宮坂宥澄 米山奨学生チャーさんをご紹介申し上げます。

藤森睦美 信大医学部卒業後 50年の同窓会に出席し、久しぶりに旧交を暖めて来ました。60名中14名が死亡。職業柄まだ3分の2が働いています。昭和の一ケタ、まだ頑張っています。

坂井忠彦 創業140年(豊島屋)になります。

杉田隆夫 5月5日創業77年になりました。

宮沢由己 5月が創業月です。

濱 透 休みが続きました。

出席報告

会員数50名、出席者35名、出席率70.00%、前々回訂正74.00%